

市政クラブを代表し、今定例会で提案された議案第106号令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第8号）から議案第143号岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約の協議について並びに議案第145号令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第9号）の全議案について、賛成の立場で意見を述べます。

はじめに、議案第106号令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第8号）及び議案第145号令和3年度盛岡市一般会計補正予算（第9号）について意見を述べます。

まず、歳入について、議案第106号補正予算（第8号）では、国庫支出金について、新型コロナウイルスワクチン接種事業における必要経費などに対する国の負担金及び補助金の増額等を見込んでいます。

また、県支出金について、新型コロナ感染症対応生活困窮者冬季特別対策事業に対する県補助金の増額分を見込んでいます。

さらに、寄付金について、公共交通利用促進対策事業のJR田沢湖線新駅整備事業における企業版ふるさと納税の受領分を歳入としており、それぞれ必要な補正措置であると思います。

そして、追加で提案された議案第145号補正予算（第9号）では、国庫支出金について、子育て世帯への臨時特別給付金事業にかかる現金5万円を給付するための必要経費に関して国の補助金の増額等を見込んでおり、必要な措置であると思います。

次に歳出について、議案第106号補正予算（第8号）では、第3款民生費として、新型コロナウイルス感染症対応として、生活困窮者に対する「灯油、電気、ガス」等の経費等に要する経費への支援として、一世帯当たり5千円を給付する事業にかかる経費を計上したものです。

また、第4款衛生費について、新型コロナウイルスワクチン接種事業については、新型株が世界的に大流行する気配が強まる中で、本市においても医療従事者を先行して3回目接種の実施に向けた必要経費を計上したものです。

さらには、第5款労働費について、雇用対策推進事業及び若者の就業支援事業については、新型コロナで地域経済が厳しい中であって、学生らの就職活動を積極的に推進するた

めの企業研究会の開催や、就職氷河期世代に対する積極的な就労支援を行う事業の実施に向けた必要経費を計上したものです。

そして、第10款教育費について、新型コロナの影響で修学旅行が中止又は延期となった場合に発生したキャンセル料について保護者の負担軽減を図る事業及び臨時休校による給食停止に伴う損失にかかる経費について補助する事業の実施に向けた必要経費を計上したものです。

また、追加提案された議案第145号補正予算（第9号）では、第3款民生費について、国の子育て世帯への臨時特別給付金支給事業にかかる児童手当受給世帯などへ現金5万円を給付する事業の実施に向けた必要経費を計上したものです。

そして、同じく第3款民生費について、生活困窮者に対する自立支援金を再支給する事業などの実施に向けた必要経費を計上したものです。

さらに、第6款農林費について、水田農業構造改革事業として、米価の大幅下落などにより厳しい状況にある生産農家に対する「次期作支援金」を交付する事業の実施に向けた必要経費を計上したものであり、それぞれ必要な措置であると思います。

次に、市政全般についてですが、今後も、新変異株の感染拡大など、予断を許さない状況が続くことから、引き続き、市の財源確保をはかる一方で、感染拡大防止に向けて3回目ワクチンの円滑な実施、生活困窮者をはじめとする重層的な支援、当市の地域経済を支える中小事業者に対する継続的な支援の拡充を求めます。

また、農業支援については、9月定例会、10月臨時会、そして12月定例会と市としての農業生産者への対処療法的な支援助成事業に留まったと解されます。

今後、2022年度予算からは、盛岡市としての食料自給率の更なる向上を目指し、持続的な農業支援、地球温暖化の影響による農作物出荷や価格に対する継続的な農業支援策を打ち出すよう強く求めます。

さらに、これまで新型コロナ対策として各種支援事業が実施されてきましたが、それぞれの事業についてみると、事業の効果が十分ではないために、繰越などを行う事業も散見されることから、各事業の実績・効果を的確に判断し、迅速な予算の補正措置などの対応を当局に求めます。

以上のほか、我が会派の議員が今議会で述べた質問趣旨、意見を尊重し、市政執行に反映されるよう要望し、討論とします。